

# 第128回理学部コロキウム

## もの言わぬ化石の生態を復元したい

理学部 地質科学プログラム 椎野勇太



**日時：12月22日（木）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）**

**場所：サイエンティフィックビジュアルイゼーション室  
産学連携共同研究棟2号棟1F**



※理学部・環境工ネ棟・生命環境棟・物質生産棟からは渡り廊下から移動可能です  
QRコードで場所を確認できます→

過去5億4千万年間を通して、生物がどのように進化・多様化を遂げたのかは、地層に残された化石から探ることができます。しかし一般的な化石には、生物の活動を担う軟体部が残されていません。過去の生物の適応や進化を探るためには、骨や殻といった硬組織ばかりの「もの言わぬ化石」から、いかに生物学的な情報を抽出するかが鍵となります。

このコロキウムでは、古生代の海底で大繁栄した腕足動物を中心に、生物としての基本的な情報をどのように復元するか、化石生物の生態をどうやって明らかにするのか、化石を科学する面白さや難しさを紹介します。長い時間軸上で起こる様々な事象を統合的に考える古生物学の視点をぜひ体感してみてください。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)